

平安時代の群馬の大地震

『弘仁地震』

—地震を“自分事”として見直そう—

あなたは、
今から千二百年前に
群馬で起こった震災を
知っていますか？

■■ ごあいさつ ■■

「群馬には大地震はこない」と思いこんではいませんか？しかし、それは果たして本当なのでしょうか。

「地震は忘れた頃にやってくる」という教訓を考慮するために、西暦818(弘仁9)年に関東平野北西部で発生した「弘仁地震」に関するパネル展示を企画しました。

この地震は平安時代の歴史書に記され、それに対応するように、群馬県南部から埼玉県北部で、地すべり、地割れ、液状化などの、強い揺れをしめす痕跡が多く、古代遺跡から見つかっています。

2018年の今年、弘仁地震の発生から1200周年にあたります。そのような中、今年6月17日には、群馬県内を震源とする内陸地震としてはまれな震度5弱が観測され、本当に驚きました。地震発生危険度が比較的低いとされている群馬県でも過去に大地震が発生していたことを知って頂き、地震を“自分事”として見直し、地震への備えを確かめるきっかけにして頂ければ幸いです。

2018年6月18日











企画発起者 若井明彦(群馬大)、熊原康博(広島大)、早田 勉(前橋工科大非常勤講師)

弘仁地震によるものと思われる「地割れ」の発掘例(写真提供:桐生市(旧新里村)教育委員会)

■■ 主催 ■■

群馬大学 地盤工学研究室
広島大学 大学院教育学研究科自然地理学研究室
株式会社 火山灰考古学研究所

■■ 後援 ■■

-  群馬県
-  国土交通省 関東地方整備局高崎河川国道事務所
-  東日本旅客鉄道株式会社上信越工事事務所
-  東日本高速道路株式会社関東支社高崎管理事務所
-  群馬大学 広域首都圏防災研究センター
-  公益社団法人 地盤工学会 関東支部
-  公益財団法人 群馬県建設技術センター
-  公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
-  一般社団法人 日本損害保険協会北関東支部
-  株式会社 上毛新聞社

■■ 本イベントで作成したパネルのタイトル ■■

- 01 弘仁地震のつめ跡は遺跡の発掘調査でみつかった！
- 02 弘仁地震が大地にもたらしたいろいろな痕跡をみてみよう
- 03 遺跡での被災状況と埋蔵文化財調査の役割
- 04 平安時代に発生した群馬の大地震の記録を読む
- 05 震災の復興対策は平安時代にもあったの？
- 06 弘仁地震の原因!? 活断層をどうやって見つけるのか？
- 07 太田断層の活動を地形と地層から復元する
- 08 太田断層が活動したら、どんな揺れが生じるのだろうか？
- 09 「生け捕りにされた液状化」今も昔も変わらない地震の真実
- 10 最近の地震の斜面災害から昔の群馬の出来事を想像しよう
- 11 被害軽減に役立つ最先端の耐震テクノロジー

スペースの都合により、これらすべてのパネルを展示していない場合があります。本イベントのホームページ (<http://kounin-jishin.ees.st.gunma-u.ac.jp>、右のQRコード)では、すべてのパネルをご覧頂けます。



■■ 本パネル作成に協力して頂いた団体(後援団体を除く)・個人の方 ■■

【団体】伊勢崎市教育委員会、太田市教育委員会、桐生市教育委員会、渋川市教育委員会
【個人(敬称略、五十音順)】岩佐佳哉(広島大学大学院教育学研究科大学院生)、弘嵐 佑(広島城北中・高等学校)、松田 猛(一般財団法人群馬地域文化振興会)

